

平成19年度実施 教員個人評価の結果について

評価委員会委員長

福井大学では、教員の教育・研究・社会貢献等諸活動の活性化を図るとともに、活動内容の社会への説明責任を果たすことを目的として、平成17年度に全学の評価基準を定めました。これに基づき、各学部等の特性に応じた評価基準を定め、平成19年度に、センター等の教員を含む全教員を対象に個人評価を実施しました。

評価結果の概略は以下の通りです。

1. 評価対象

教授・准教授・講師・助教、助手の全教員

2. 評価方法

原則として、教育活動、研究活動、社会貢献・国際交流活動、管理運営活動の4領域（ただし、特定活動として、医学部では「診療活動」、センター等では「センターの設置目的に合致した活動」を加えた5領域）について、各教員が「福井大学総合データベースシステム」に入力したデータ等を基に、実績に基づく評価を実施しました。

3. 評価結果

いずれの学部・研究科等においても、80点以上の高評価の教員が90%以上を占めました。

評価結果は本人にフィードバックし、教員自身の活動活性化に繋げました。